

ウォーキングコース(成田道1)

～成田山に続く道をゆく～

成田と安食を結ぶ成田道



成田道は、江戸からの成田詣の増加に伴い整備されました。臼井や佐倉などの印旛沼の南側を通る道筋が主でしたが、松崎や安食など印旛沼の北側を通り、木下街道・水戸街道や舟で江戸に帰る旅人も多かったようです。

安食には現在、渡し場跡や旧道が残り、新しく立てられた「旧成田みち」の道標をたどり、昔の旅を偲ぶことができます。

成田・栄・房総のむらミュージアムタウンマップより

①百庚申 (ひゃくこうしん)

造り始められたのが江戸時代後期になってからで、数量によって、より多くの功德を願う風潮がおこり各処に百庚申、千庚申、万庚申などと刻む例がいくつも見られた。



②木曳坂 (きびきざ)

か

印旛沼の津から材木を引き上げて、龍角寺を造ったと伝わる坂。この坂を下った周辺に船戸という地名が残っている。



③房総のむら

県立の体験型博物館。江戸後期から明治初期の房総の農家や商家などが再現されている。紙漉きや絵ろうそくなどの体験ができる。



④岩屋古墳

全国2番目に大きな方墳。1辺約78m、高さ約13mの三段築成の方墳。横穴式石室が2基並んで開口しています。築造は7世紀中頃と考えられています。平成21年2月国指定になりました。



⑤円光寺 (成田市)

珍しい時宗の寺院です。1314年創立。度重なる火災にあい、現本堂は昭和47年新築。1403年の七層の石塔があります。

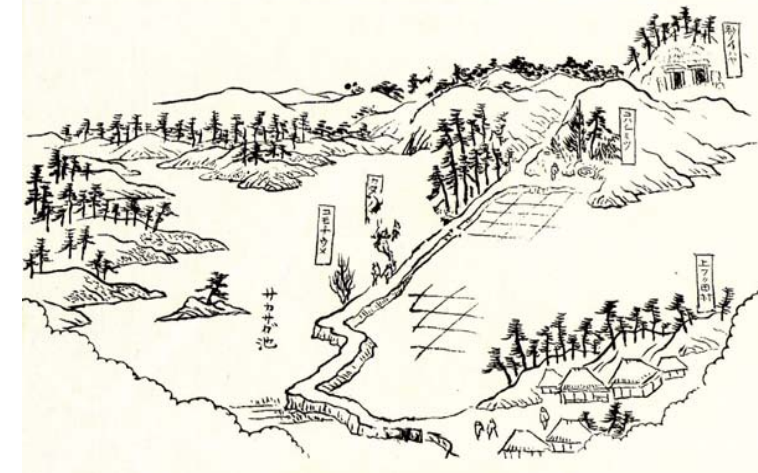


ちょっとより道



◆上福田の岩屋古墳 (成田市)

1辺約32m、高さ約6mの方墳で南側の墳居裾部には、横穴式石室をもっています。岩屋古墳を中心にして、北側にみそ岩屋古墳、南側に上福田岩屋古墳が直線的に配置されています。築造は7世紀後半と考えられます。



下総名勝図絵より

編集・発行

のらりくらり健康バーチャル

ウォーキング実行委員会

事務局：千葉県印旛郡栄町安食301-1

0476-85-1661

<http://hitomati.net>